

# 油圧クラッチキット 取扱説明書

(マニュアルクラッチ車専用)

製品番号	02-01-0035 (カバーキット)
	02-01-0124 (フルキット)

適応車種及び フレーム番号	6V モンキー / 6V ゴリラ (Z50J-1300017 ~ 1805927)
	12V モンキー / 12V ゴリラ (Z50J-2000001 ~ ) (AB27-1000001 ~ 1899999)
	モンキー (F1) (AB27-1900001 ~ )
	モンキー BAJA (Z50J-1700001 ~ )

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品を使用するには、コンビネーションスイッチが別途必要です。フレーム番号に見合った製品をご使用下さい。

◎当製品の取り付けには、マフラー脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。

◎当製品付属のL. マスターシリンダー ASSY. はオイル確認窓が無い仕様の為、クラッチ液の量はオイルカップ部の上限線で確認して下さい。

◎6V モンキー / 6V ゴリラ (Z50J-1300017 ~ 1600007) に使用する場合、ノーマルハンドルパイプにL. マスターシリンダー ASSY. の取り付けが出来ない為、ハンドルパイプを交換して下さい。

## ～特徴～

○クラッチリリース方式を油圧方式にする事により、クラッチ操作のレスポンスが良くなり、操作性が向上します。

**!** 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

**!** 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■マフラーがオイルホースに干渉しない (20 ~ 30mm 以上の間隔は確保する。) ようにホースを取り回して下さい。

(部品破損等の原因になり、転倒、事故につながる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。)

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行ってください。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル : 0721-25-8857

02-01-0035



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ハイドロリッククラッチカバー	1	
2	エアフリーバンジョーボルト	1	90145-181-T00
3	ブリーダーキャップ	1	00-02-6212
4	ブリーダースクリュー	1	00-02-6213
5	クラッチリリースピストン	1	22865-181-T01
6	ピストンカップ	1	00-02-0352
7	クラッチリリーススプリング	1	00-02-0353
8	ホース 775mm	1	06-080-0007
9	L. マスターシリンダー ASSY.	1	02-02-2103
10	リリースブラインドプラグ	1	22811-181-T00
11	Oリング	1	00-00-0170 (2ケ入り)
12	ソケットキャップスクリュー 5x12	2	00-00-0160 (4ケ入り)
13	ガスケット	1	00-02-0286 (2ケ入り)
14	シーリングワッシャ	4	00-07-0010 (10ケ入り)
15	バンジョーボルト	1	00-07-0097 (シーリングワッシャ2ケ入り)
16	タイラップ 200mm	1	00-00-0179 (10ケ入り)
17	Lレンチ 4mm	1	
18	ブレイキフルード BF-4 (200cc)	1	06-08-0019
19	バンジョー(ストレート)	2	00-07-0006

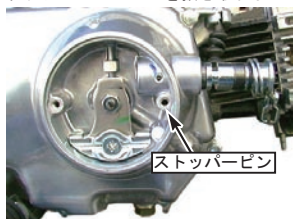
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。  
予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット  
品番にてご注文下さいませお願い致します。

■ 取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

セット内容を、ご確認下さい。

**(取り付け準備)**

- ▲ 注意：エンジン、マフラーが冷えている事を確認する事。
  - ▲ 注意：車両を安定させる事。
1. 車両をメンテナンススタンド等で安定させ、ウインカーホーンスイッチ ASSY. の結線と、クラッチワイヤーを外し、ウインカーホーンスイッチ ASSY. を L. ステアリングハンドルレバーごと取り外したらクラッチワイヤーを抜き取ります。
  2. 2本のオーバールスクリューを外し、クラッチカバーを取り外します。クラッチレバーストッパーピンを抜き取り、クラッチレバー COMP. をクラッチレバースプリングと一緒に取り外します。  
※クラッチレバーストッパーピンは再利用しますのでなくさないように注意して下さい。  
※STD. マフラー、UP マフラーをご使用の場合は、マフラーを外さないとクラッチレバー COMP. を抜き取れません。



3. フラットスクリューを外し、クラッチリフタープレート、リフターセッティングプレートを取り外します。



**(取り付け)**

▲ 注意：トルクレンチを用意し規定トルクを必ず守る事。

1. リリースブラインドプラグのOリングがついている事を確認し、リリースブラインドプラグのフラット面からクラッチレバー COMP. の入っていた穴に入れてクラッチレバーストッパーピンで止めます。
2. ハイドロリッククラッチカバーにクラッチリリーススプリングの大径部側から入れ、クラッチリリースピストンの穴の開いた方からハイドロリッククラッチカバーにはめ込みます。  
※ピストンシール、ハイドロリッククラッチカバーのシリンダー内側にブレーキフルードもしくはラバークリスを必ず塗布して下さい。



3. ハイドロリッククラッチカバーにガスケットを入れR. クランクケースカバーにしっかりとはめ込みソケットキャップスクリューで仮締めし、規定トルクで締め付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：5N・m (0.5kgf・m)

4. L. マスターシリンダーをハンドルにソケットキャップスクリューで取り付け、規定トルクで締め付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

5. ハイドロリッククラッチカバーのザグリ部分にシーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順に置きエアフリーバンジョーボルトを手で仮締めし、オイルホースをL. マスターシリンダーまで取り回し、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順にバンジョーボルトで取り付けます。位置が決まれば、バンジョーボルトとホースフィッティングを規定トルクで締め付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト  
トルク：15N・m (1.5kgf・m)  
ホースフィッティング  
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

6. エアフリーバンジョーボルトにブリーダーキャップを取り付けたブリーダースクリューを取り付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
ブリーダースクリュー  
トルク：5N・m (0.5kgf・m)

**(クラッチ液の注入)**

1. L. マスターシリンダーのリザーバキャップを取り外し、ブリーダースクリュー、バンジョーボルトが締め付けられている事を確認し、L. マスターシリンダーのリザーバの上限線までクラッチ液を注入し、クラッチレバーを操作し、クラッチシステム内にクラッチ液を満たす。  
この操作をリザーバ内のプライマリポートから気泡が出なくなるまで(クラッチレバーに重みを感じるまで)行う。  
※化学変化を防止する為、異なった銘柄の液を混入させない事。  
※クラッチ液は、塗装面を損傷させるので部品類に付着させない事。



2. ブリーダースクリューにビニールチューブを取り付け、クラッチレバー先端がハンドルグリップに当たるまで握り、ブリーダースクリューを約1/2回転緩め、再び締める。クラッチレバーをゆっくり放し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する。ビニールチューブから気泡が出なくなるまでこの操作を繰り返します。

- ※リザーバからエアが入らないように、クラッチ液の液面を点検しながら行う事。
3. エア抜きが終了したら、クラッチ液をリザーバの上限線まで補給し、ダイヤフラム、リザーバキャップを取り付けます。  
ブリーダースクリューの締め付けトルクを確認します。

▲ 注意：エア抜きが完全でない場合、エンジンが高温になるとクラッチが切れなくなる可能性があります。

**(組み付け後)**

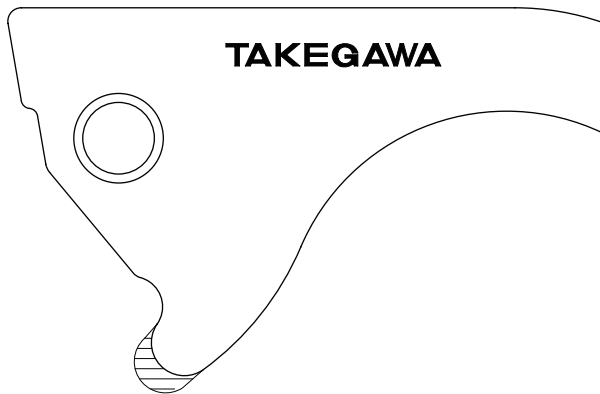
1. エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトしクラッチレバーを握ります。車両を動かした際リアホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しない事を確認して下さい。



2. トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。  
異常が無ければ安全な場所で低速度の走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

## マスターシリンダーのご使用について

レバー交換等で一度マスターシリンダーよりレバーを外した際は、  
レバー取り付け後にピストンとレバーの遊びが変わる場合があります。  
その場合、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。



SPECIAL PARTS  
**TAKEGAWA**